

VMCU-3359H 型 Basic (n連棟)

建築面積	19.07 × n m ² (5.77 × n 坪)	(間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)
------	---------------------------------------	---------------------

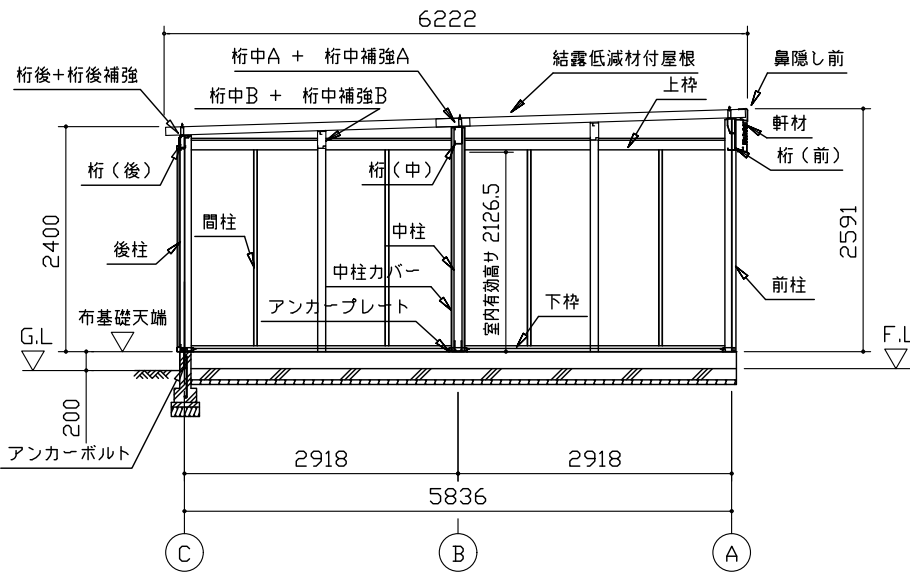
構造耐力上主要な部分の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料	有効細長比
前 柱	□-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後 柱	□-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱(左右)	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後 柱(中)	□-85 × 84	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前 柱(中)	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
中 柱(中)	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	78.3
補 強 柱	□-85 × 44	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	134.7
桁 前	〒-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中	〒-181.5 × 69.5	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中 補 強	〒-180 × 48	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 後	〒-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
桁 後 補 強	〒-138.5 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁	〒-310 × 114	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁 補 強	〒-343 × 80	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	〒-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	—	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル STKM	
アンカープレート	—	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

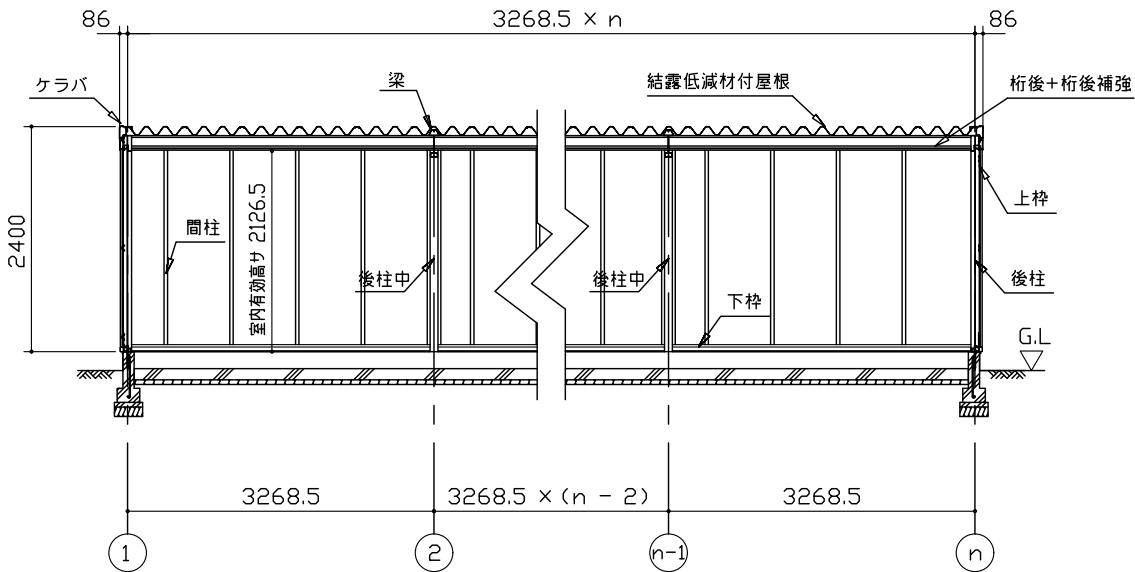
構造耐力上主要な部分以外の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料
上 枠	〒-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下 枠	〒-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	〒-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間 柱	□-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
結露低減材付屋根	〒-88 × 600	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	〒-14.5 × 71	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 前	〒-130 × 98	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
ケ ラ バ	〒-137 × 135.5	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
柱 化 粧 前	〒-167 × 139.5	0.8mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
柱 化 粧 後	〒-110 × 85	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
柱 化 粧 中	〒-124 × 110	0.8mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
軒 材	〒-139.5 × 55	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
外 壁 材	〒-186.5 × 18	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC

・連棟する場合、強度上、連結部に中間ブレース、もしくは間仕切りセットが必要になります。
詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。



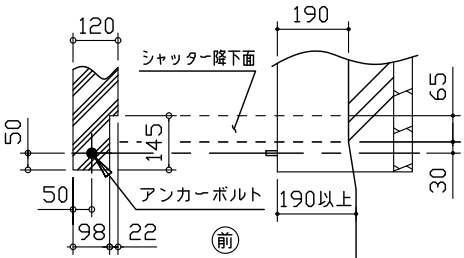
側 面 断 面 図 (S=1/80)



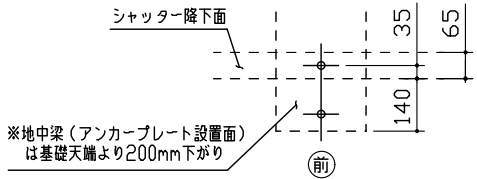
正 面 断 面 図 (S=1/80)

シャッター降下面は土間を
水平に仕上げてください。

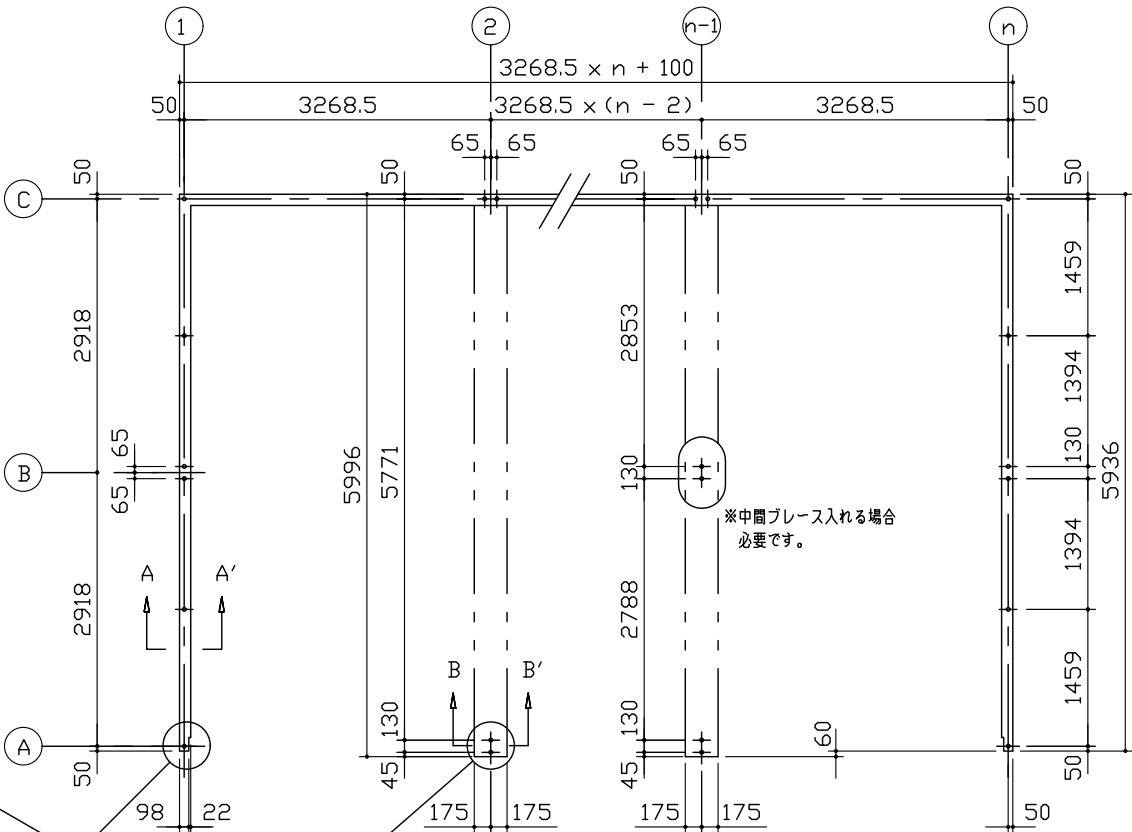
<特記事項>
・シャッター降下面の土間仕上げについては
基礎天端より190mm下がりとしてください。
・シャッター降下面より前側の土間仕上げについては
基礎天端より190mm以上の下がりとしてください。
(200mm目安)



シャッター部分詳細図
(S = 1/20)



シャッター部分詳細図
(S = 1/20)



布 基 礎 伏 図 (S=1/80)

・布基礎断面図 縮尺=1/20

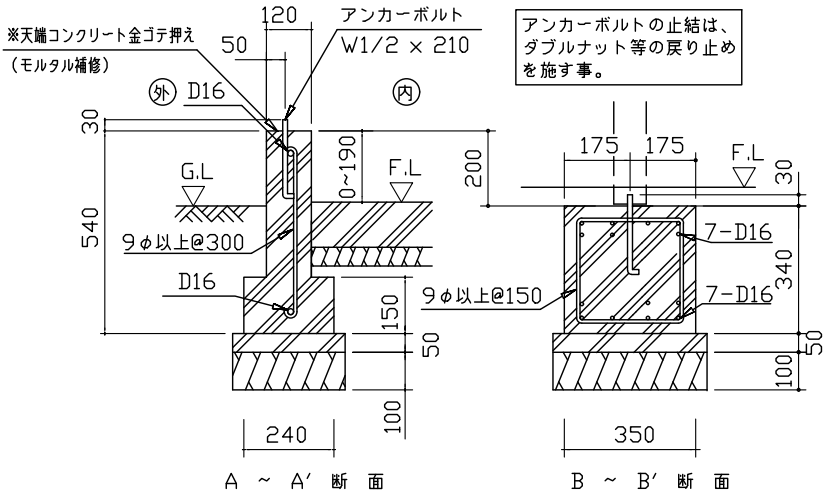
(地耐力 50kN/m²以上,コンクリート設計基準強度 18N/mm²以上)
基準風速 34m/s, 地表面粗度区分Ⅱ

<上記条件での参考図です。>

注1)地耐力が 50kN/m² 未満 (30kN/m² 以上) の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。

注2)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



A ~ A' 断面

B ~ B' 断面

名 称 ヨドガレージ ラヴィージュⅢ

機種名 VMCU-3359H型 Basic (n連棟)

・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

株式会社 ヨドコウ